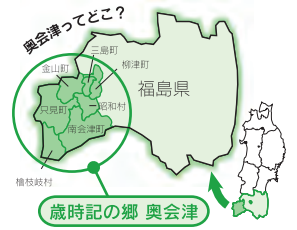


奥会津だより



マタタビの皮をむき、割り、なめして日が暮れる
材料が整うまで 日がな一日
ザルを編むのは楽しい やがて日が暮れる
長い冬があつてこそその手仕事
ていねいに誠実に時を刻んで春を待つ

写真：平田春男

よみがえる話

只見町立只見小学校 五年 鈴木 涼

ぼくのばあちゃんの生ま
れは、昭和十七年一月。名
前は小沼ミヤ子です。
この写真は昭和二十九年
の一月に学校で写した写真
です。この時、ばあちゃん
は十二才でちょうど六年生
でした。六年生はもう一組
あったそうです。
この写真を見てぼくはば

あちゃんに、
「このころから長ぐつがあっ
たんだね。」と言いました。
そしたらばあちゃんは、
「長ぐつなんてまだ高かった
から二、三人くらいしかは
いてねえ。」と言いました。
またそのあとばあちゃん
が、「今は色々あるけど昔は
なかったから、たぶん今の
人よりも長ぐつが
できる。」と言
いました。
ぼくはばあ
ちゃんのこの言
葉を聞いて、ば
あちゃんたちみ
たいにがまんが
できる強い子に
なりたいたいと思
いました。



取材ノート



祖母：小沼 ミヤ子 さん
(昭和17年生)
孫：鈴木 涼 君
(平成15年生) (只見小6年)

Q…この頃の学校生活のことを何か
ミヤ子さん…先生のことはいろいろ覚
えているんだが、勉強していたのかな…
一番印象に残っているのは、先生たち
は黒板を指す竹の棒を持っていて、戦
(いくさ)の話が好きで男の先生が教卓
にまたがって、秀吉の時代だったのか
その棒をムチにして馬で戦っている話
をしてくれた。いつも同じ話なんだが
とても面白かった。生徒が 授業に飽
きてくると先生がそれをやってくれた
んだが、先生も好きだったんだべな
その光景は、よく覚えている。あれ
が歴史の授業だったのかな。
Q…学校の遠足はどうでしたか？
ミヤ子さん…草履はいて行きました。
樋戸(ならど)の分校に歩いて行った。
そこで飲んだ、砂糖の入ったムギ茶が
とても美味かったなあ。行く途中のマ
ツトバというところに井戸があつてそ
こで休憩。そこで、ばあちゃんがつる
べで水を汲んでくれて、みんなに一口
ずつ水を飲ませてくれる。
Q…遠くの町へ行った記憶は？
ミヤ子さん…十三参りの時に柳津さ行
って、泊まりは若松の玉川旅館だった

Q…今年ももうすぐ終わりですが…
ミヤ子さん…去年の今頃、ものすごく
雪が多かったのに、今年は少ないな
珍しいくらい。
涼君…クリスマスなのに、雪が無いん
だもんね。
Q…涼君「よみがえる話」というタイ
トルにしたのは？
涼君…少し悩んだんですが、おじい
ちゃんやおばあちゃんに聞いた話のこと
なので先生と話し合って考えました。
Q…この集合写真は？
ミヤ子さん…私たちが5年生の時、雪
合戦をした後の記念写真です。
Q…涼くんが、「長ぐつ」に目を留めて
いますか？
ミヤ子さん…このころから、ありました。
クラスの2、3人が長ぐつ、他は「フ
カグツ」と「ゲンベエ」。
Q…長ぐつは、どこで買っていたので
しょう？
ミヤ子さん…そんなごど、わがねなあ。
よく覚えてないけど、「サダマサ」で売



不思議な話
飯塚清一さん
(昭和22年生まれ・柳津町湯八木沢)
滝谷から湯八木沢の方に向
かってトンネルを抜けると、左
側に営林署の杉が植えられてい
るところがある。
子どもの頃、そこによく草刈
りに行った。稲刈りが終わった
田に、稲ワラと一緒に肥料の代
わりに草を入れるためだ。草刈
りの場所をとるために、朝早く
真っ暗いうちに家を出たものだ。
秋彼岸の頃だった。私は4歳
から5歳だったが、じさまやばさ
まが居なかつたので親と一緒に
連れて行かれた。まだ暗い草刈
場に着くと、滝谷川を渡った川
向いの山に、灯りがずらりと並
んでいるのが見えた。曾根から
曾根に何百人もでタイムツ持っ
てるように見えたのを覚えてい

覚えがある。ちようど七夕の頃、初め
て町の七夕を観に行つて、アイスクリ
ームを食べた。アイスって言ったつて
キャンディだよ、みんなで食べた。美
味かつたなあ。お土産に金平糖買って
来たつて…。近所の女の子は、お土産
に金平糖ばかりいっぱい買つてきて、
家の人におこられたんだと。
涼君…取材つて、緊張するかな、と思
つていたけれど、気楽に話せて良かつ
たです。
※涼君は、6年生7人、5年生8人の
複式学級で学んでいる。
(写真・文責：菅 敬造)

奥会津の食材と料理



粕煮

お正月に欠かせない新巻鮭。かつては塩引きと言った。残った頭の部分をゆでこぼして、昆布、ニンジン、ごぼうなどと一緒にコトコトと気長に煮る。骨が柔らかくなったら酒粕を加え、ミリン少々で味を調え、水分を飛ばしたら出来上がり。ご飯のお菜にも酒のつまみにも喜ばれるお正月の名残りの一品。

暦に添う暮らし

道具の年取り



1月15日。1年間の暮らしを支えてくれた刃物を神棚の前に飾ってごちそうを供え、感謝する小正月の行事。この日だけは刃物たちを休ませて一緒に年を重ねてもらう。クワ、ノコギリ、ナタ、包丁、ハサミ等々。山村の暮らしには欠かせない道具たちにも正月が巡ってきた。

奥会津の生き物と草花

写真・文：新国 勇



ヨシガモ

ナポレオンの帽子のような頭部が、光線により緑色や紫色にかがやく。全国の湖沼や川に飛来する冬鳥だが、数は少ない。奥会津ではダム湖で数羽が越冬している。きれいだか、注目されず残念。



ヤブコウジ

ブナ林の林床で、ひっそりと赤い実をつける小さな常緑樹。群生している様は趣があり、園芸種として重宝されるのもうなずける。語源は、やぶのなかに生え、ミカン科のコウジに似ているから。

軒先の風景

写真・文 竹島 善一

太郎布の集落は沼沢湖からさらに上った高原にある。金山町の中でも、人の住む地では最多降雪の地である。
凍み大根が干された単純化されたモノトーンの世界に、人の息吹を見る。
秋に収穫される大根の保存法として、先人はこの寒気を利用してきた。乾燥させることにより旨味を引き出す知恵は、干し柿、干し餅など多々ある。

(平成17年2月 金山町太郎布)



Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「ゲンベエ」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、南会津町館岩の「木製鍋敷き」をプレゼントいたします。



●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511
福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2016年2月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号91号で発表いたします。

◎89号「カンジキ」の答え：雪上を歩くための道具

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー



●今回の表紙は(ミジャ)(タンナゲ)と云われていた洗い場ですね。子どもの頃は良く手伝いを致しました。会津の水はとてもおいしくて、どこでも飲むことができました。三島に帰った折には、おいしい水を沢山飲みたいです。(岡山県:F.Hさん)

●毎号見て、なんとともほっとします。ほんの4ページの誌面なのですが、いいことがわかります。今後もこの調子でお願いします。(檜枝岐村:H.Iさん)

●貴誌を読んで、とても季節感のある冊子だと思った。表紙の写真が素晴らしい!内容にしても、奥会津の特産品や日常生活が手に取るように伝わってきます。(栃木県:A.Fさん)

●貴誌をはじめ拝見いたしました。強くアピールするものがないところがうれしい。飾ることなく極自然に奥会津の様子を伝えているところが気に入りました。宣伝紙とは違うところがよいです。(新潟県:T.Mさん)

奥会津だより
定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

奥会津振興センターからのお知らせ

第6回 歳時記の郷・奥会津ブランドフェア

奥会津の特産品や六次化推進事業で開発してきた新商品の発表と販売を、コラッセふくしまを会場に開催いたしますので、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

◇日時 平成28年3月4日(金)～5日(土)

◇場所 コラッセふくしま
福島市三河南町1番20号

歳時記の郷奥会津シンポジウム

パネルディスカッションや基調対談のほか、今年度当協議会が実施してきた事業の成果発表の場として金山町で開催いたします。

◇日時 平成28年3月12日(土)

◇場所 金山町 多目的体育施設御神楽館
福島県大沼郡金山町大字本名字船渡 913

◇問合せ 只見川電源流域振興協議会 TEL.0241-48-5525

奥会津イベント情報

2月～3月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
2月6日(土)～7日(日)	第36回会津やないづ冬まつり	柳津町	道の駅「会津柳津」	柳津町役場観光商工班 ☎0241-42-2114
2月7日(日)	読売杯南郷スラローム大会	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎0241-73-2111
2月13日(土)	第44回雪と火のまつり	三島町	三島町民運動場	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
2月第2土曜日頃	南郷早乙女踊	南郷地域	南会津町下山地区	南会津町観光物産協会南郷支部 ☎0241-64-5811
2月13日(土)～14日(日)	第44回只見ふるさとの雪まつり	只見町	J R只見駅前広場	只見ふるさとの雪まつり実行委員会 ☎0241-82-5240
2月20日(土)～21日(日)	第43回クロスカントリースキー伊南杯	伊南地域	伊南クロスカントリースキーコース	南会津町観光物産協会伊南支部 ☎0241-64-5711
2月21日(日)	第38回会津かねやま雪まつり	金山町	金山町民体育館周辺	金山町観光物産協会 ☎0241-42-7211
2月28日(日)	第33回からむし織の里雪まつり	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ	からむし織の里雪まつり実行委員会 ☎0241-57-3100
3月6日(日)	第14回福島民報杯会津高原たかつえB級G・Sポイント大会	館岩地域	会津高原たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5677
3月12日(土)～13日(日)	第35回三島町生活工芸品展	三島町	三島町生活工芸館	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
	第15回全国編み組工芸品展		交流センター山びこ	
3月21日(月)	第6回高畑スプリングレース	伊南地域	会津高原高畑スキー場	会津高原高畑スキー場 ☎0241-76-2231
3月26日(土)	2016林千春メモリアルSAF公認記録会	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
3月27日(日)	第40回SAF公認朝日杯スラローム大会			



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：1月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。